

令和6年度

# 東明小だより

令和6年11月26日  
第10号



## 東明小学校の子どもたち～全国学力学習状況調査の結果より～

教務主任 大澤 伸二

右の問題は、小学校第6学年を対象に4月に行われた全国学力・学習状況調査「算数」の1(1)の問題です。2年生以上のみなさん、正解がどれか、わかりますか。この問題では、「少ない」といういわゆる“ひき算言葉”に惑わされず、2人のもっている折り紙の数量の関係を捉え、加法(たし算)で求められることを導くものです。

全国学力・学習状況調査の教科に関する調査は、国語科と算数科。出題は第5学年までの内容で、「知識・技能」及び「思考力・表現力・判断力」を総合的に問うもの。選択式、短答式、記述式と様々な形式で出題されます。また、生活習慣や学校環境に関する質問紙調査も合わせて行われます。

この調査の結果から見えた東明小学校の子どもたちの様子的一端をお伝えしたいと思います。

### 1. 教科に関する調査

#### (1)国語

◇正答率は、全国平均をやや下回り、岐阜県平均と同程度であった。

- ・「話すこと・聞くこと」に関する事項の正答率は全国平均を上回った。
- ・漢字の書き問題の正答率が低かった。

#### (2)算数

◇正答率は、全国平均、岐阜県平均を大きく上回った。

- ・4領域(「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」)全てで、正答率が全国平均を上回った。

(・冒頭の問題の正答率は、全国平均を10ポイント、岐阜県平均を14ポイント強、上回った。)

### 2. 質問紙調査 ※( )内は肯定的な回答の割合

◇「人が困っているときは、進んで助けている(100%)」「いじめは、どんな理由があってもいけない(100%)」「周りの考えを大切にして協力している(94.3%)」「互いの意見のよさを生かして解決方法を決める(88.5%)」の質問では、能動的・肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている。

◇「自分にはよいところがある(74.3%)」「将来の夢や目標をもっている(81.4%)」「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる(54.3%)」の質問では、肯定的な回答の割合がやや低かった。

東明小学校4本柱の一つ「ふわふわ思いやり」。東明小を代表する6年生の姿・意識として、仲間を大切にする、思いやることができている、うれしく思います。学校での取り組みはもちろん、家庭・地域での支えのおかげです。ありがとうございます。また、互いを尊重し合う安定した集団の中で学ぶことにより、学力も身に付いてきています。一方で仲間への配慮が勝り、自己主張を避けようとする部分もあります。正しく自己評価する力を身に付けさせ、自分に自信をもち、主体性や自己表現力を高めていけるよう、一層指導を充実させていきたいと思っています。

ゆうまさんたちは、折り紙で遊んでいます。  
(1)ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。  
ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。  
こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア  $72+28$       イ  $72-28$

ウ  $72\times 28$       エ  $72\div 28$



ICTも活用した意見交流の様子